

令和6年度 発生予察注意報 第2号

作物名 野菜・花き類
病害虫名 オオタバコガ

1 注意報の内容

- (1) 発生地域 栽培地域全域
- (2) 発生量 やや多い

2 注意報発表の根拠

- (1) 県内6地点に設置したフェロモントラップ調査において、前橋市江木町、伊勢崎市西小保方町、藤岡市本郷、東吾妻町植栗、昭和村糸井の5地点では、平年より早い時期から誘殺数の増加が見られ、4月～5月の誘殺数も平年より多く推移しています（図1～5）。
太田市前小屋町では、平年並の4月下旬から誘殺数が増加し、5月の誘殺数は平年並に推移しています（図6）。
- (2) 4月～5月頃に誘殺される成虫は越冬世代成虫であり、その誘殺数は、平年より早く、かつ多く見られました。このことから、越冬世代の産卵時期が早く、産卵する卵の数が増えると考えられます。
- (3) その結果、越冬世代の子世代である第一世代幼虫の発生時期（6月頃）が早くなり、数も多くなる可能性があり、今後の被害が予想されます。
- (4) すでに露地ナス、雨よけトマト、レタスで幼虫による食害が確認されています。
- (5) 向こう1か月の気象予報（6月6日発表）によると、平均気温は高い確率70%であり、本虫の成育に好適な条件が続く見込みです。

3 防除対策

- (1) オオタバコガは、幼虫（写真1）が果実や花蕾、結球の内部に食入し（写真2）、被害となります。
- (2) そのため、防除適期はふ化してから食入する前の短い期間となります（食入した後は農薬がかかりにくくなります）。こまめにほ場を見回り適期に防除を行ってください。
- (3) 施設栽培では、開口部に防虫ネット等を張り、成虫の侵入を防いでください。
- (4) ナスやトマト等果菜類の被害果、レタスや花き類等の被害株は、内部に幼虫が生息している場合があるので、必ずほ場外へ持ち出して適切に処分してください。
- (5) 第一世代以降の幼虫の発生が平年より早く、かつ多くなると予想されるため、防除時期に注意しましょう。

4 防除上の留意点

- (1) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同一系統薬剤の連続散布を避けてください。
- (2) 農薬の散布にあたっては、必ず農薬のラベルに記載されている使用方法、注意事項を確認して適正に使用し、他の作物等への飛散に十分注意してください。

語句説明 「誘殺数」 : フェロモンによって引き寄せられ、粘着トラップに捕殺された数
「第一世代」 : 越冬世代成虫から産生される世代



写真1 オオタバコガ幼虫



写真2 ナス果実に食入するオオタバコガ幼虫(矢印)

フェロモントラップ調査の結果

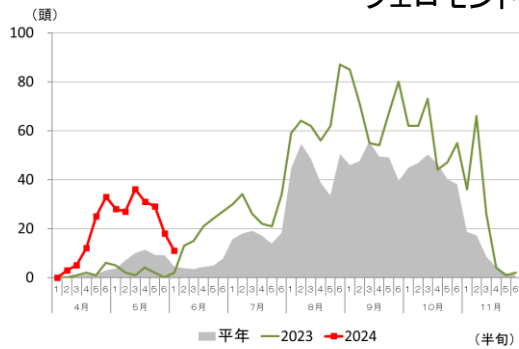


図1 前橋市江木町

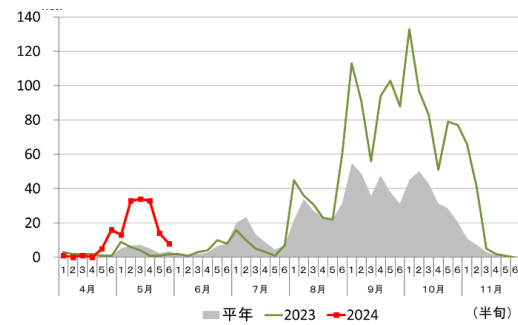


図2 伊勢崎市西小保方町

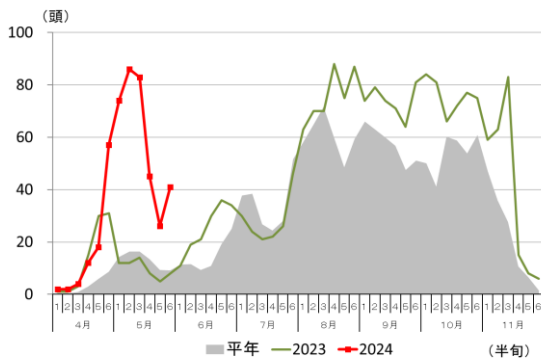


図3 藤岡市本郷

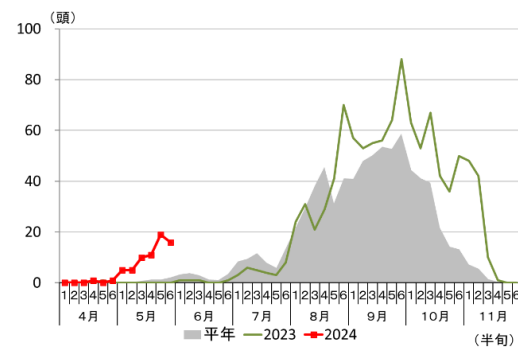


図4 東吾妻町植栗

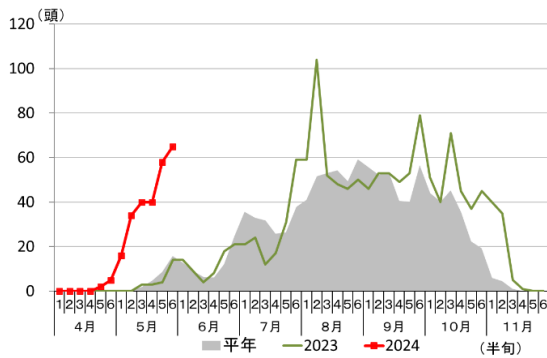


図5 昭和村系井

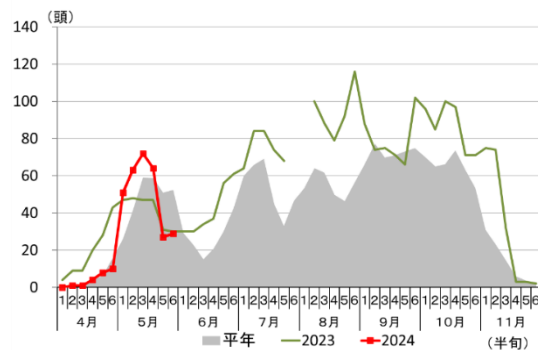


図6 太田市前小屋町

群馬県農業技術センターホームページ病害虫発生予察情報一覧
 → <https://www.pref.gunma.jp/07/p14210015.html>

